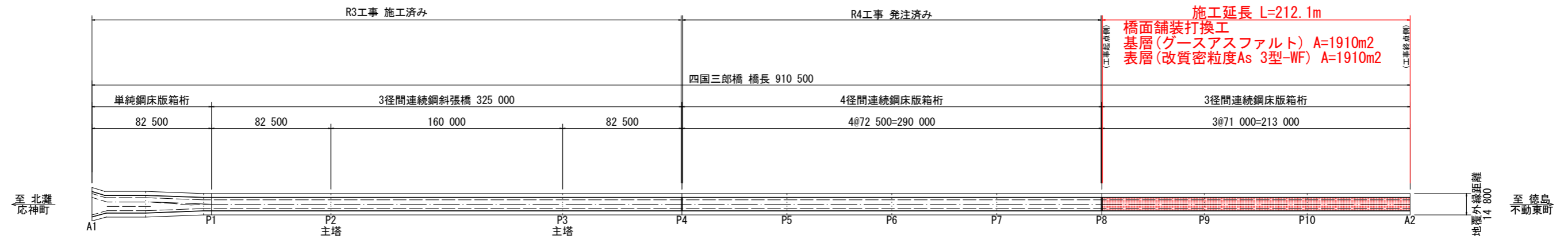
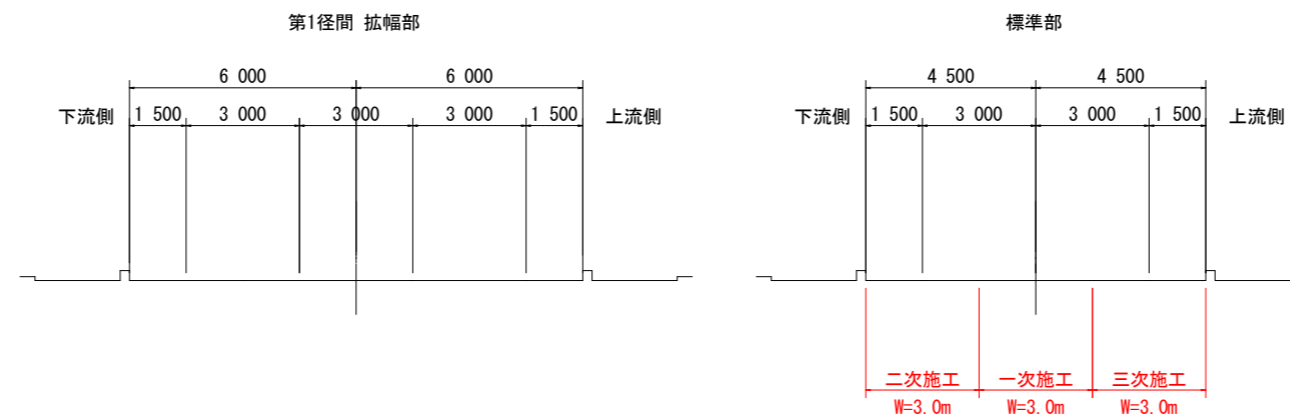


一般図  
S=1:1500



現況横断面  
S=1:100

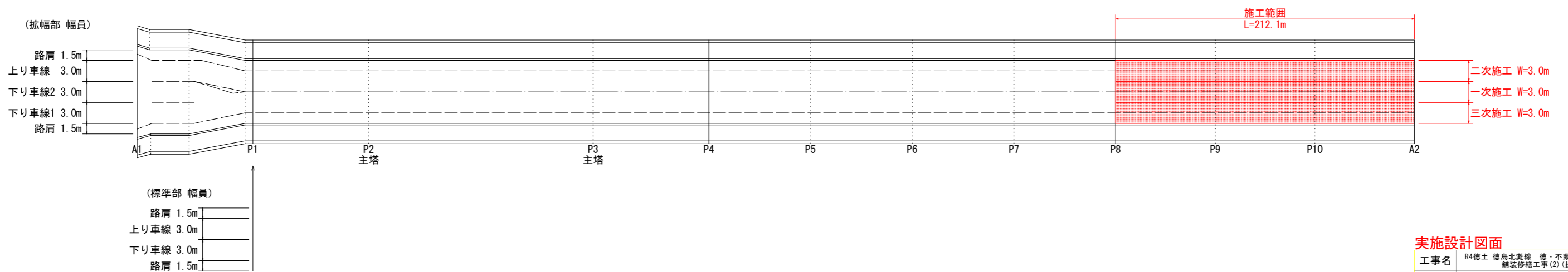


(現場条件)

- ・夜間施工(21時~翌6時)を想定している。
- ・施工中は片側交互通行により最低1車線の通行を確保することを想定している。
- ・施工期間中においても6時~21時は2車線(上下各1車線ずつ)の通行を確保することを想定している。
- ・グースAsのプリスタリング防止のため中央ブロックから施工することを想定している。

※一次~三次の施工割は参考

施工ブロック図(参考図)  
S=V:1/300, H:1/1500

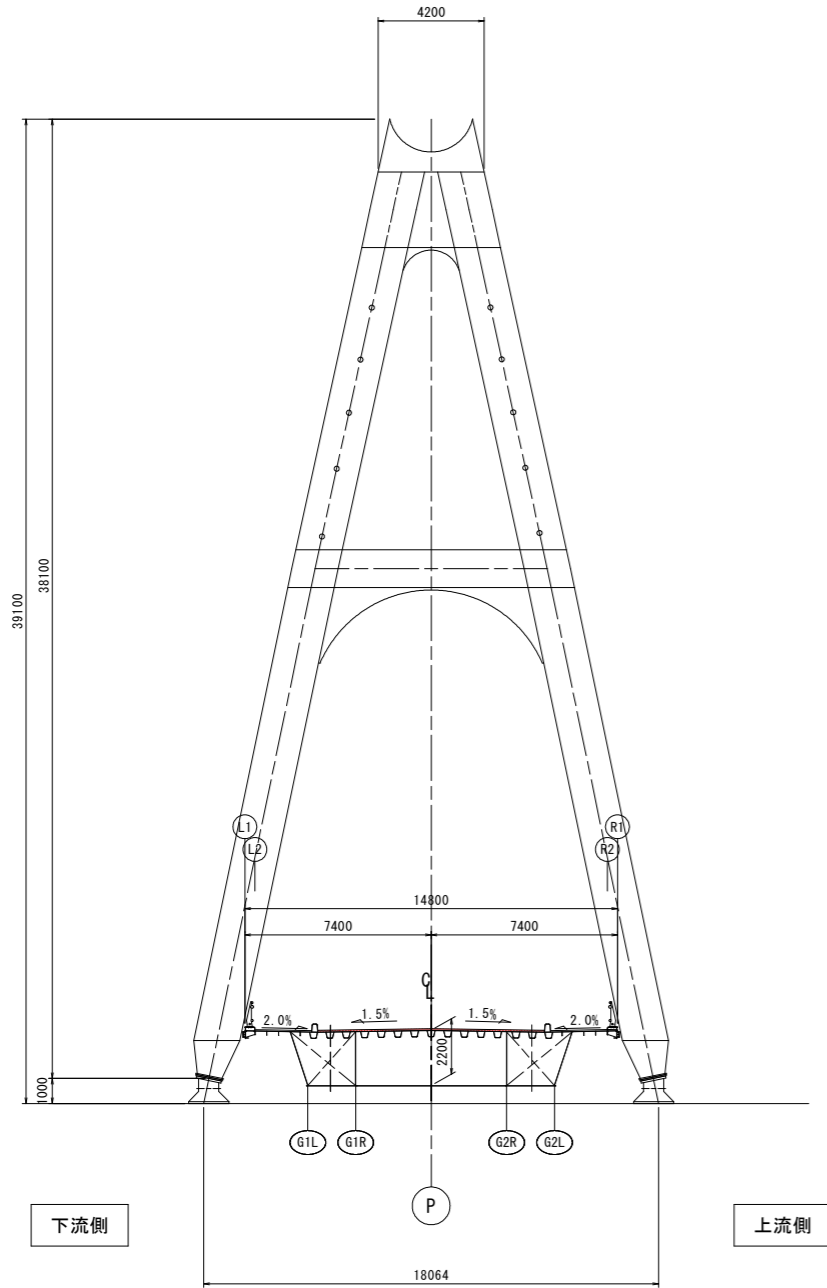


実施設計図面

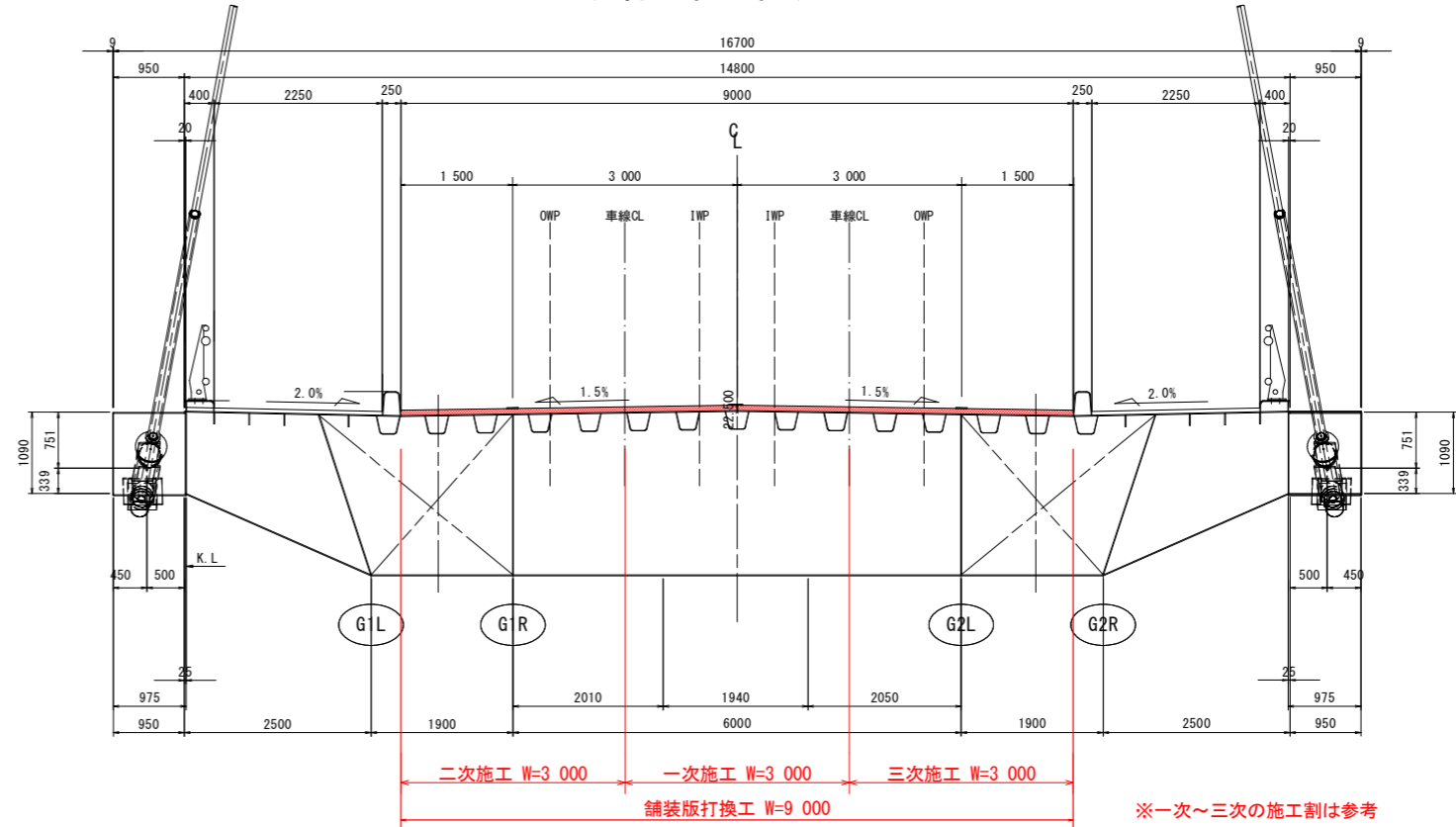
|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 工事名  | R4徳土 徳島北灘線 徳・不動東 舗装修繕工事(2) (担い手確保型) |
| 路線名等 | 徳島北灘線                               |
| 工事箇所 | 徳島市不動東町(四国三郎橋) (第2分割)               |
| 図面名  | 一般図・現況横断面図・施工ブロック図(参考図)             |
| 縮尺   | 図示 図面番号 1 / 2                       |
| 会社名  |                                     |
| 事業者名 | 徳島県東部県土整備局                          |

正面図・断面図・構造図 S=1:150

正面図



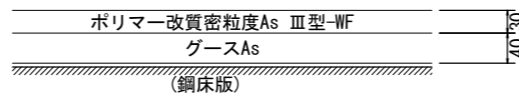
断面図 (標準部) S=1:50



舗装構造図

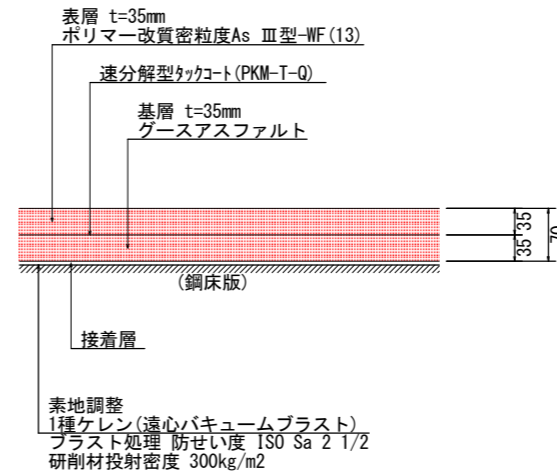
Sc=1:5

(既設舗装断面図)



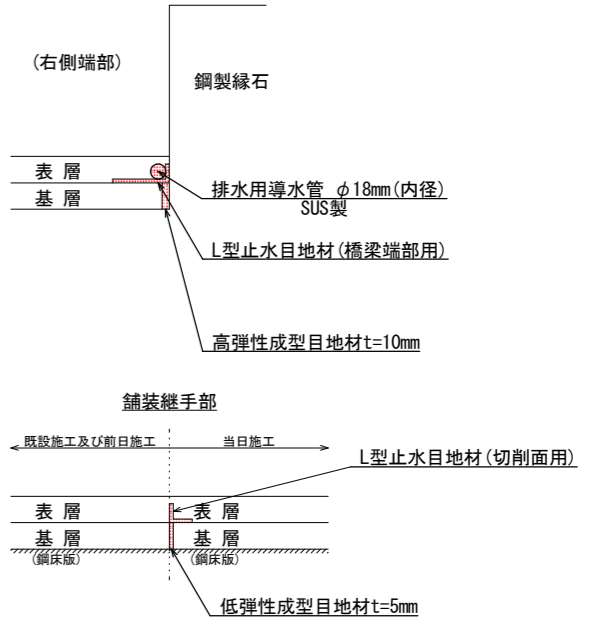
※舗装厚は橋梁台帳より

(舗装打換工)



端部防水・排水構造図

Sc=1:5



(留意事項)

- 既設舗装厚は箇所毎に異なる可能性があるため撤去後に実測し計画打換厚を精査すること。
- 排水用導水管は既設排水樹の横孔に接続すること。既設の横孔が使えない場合は、本工事にて孔明けして新たな流末孔を設けること(これに要する費用は設計変更の対象とする)。
- 接着層は素地調整後速やかに施工すること(4時間以内)。
- 基層と構造物(地覆、伸縮装置)の接合面には高弾性成型目地材(厚10mm\*幅35mm)を設置すること。
- 基層同士の接合面には低弾性成型目地材(厚5mm\*幅35mm)を設置すること。

実施設計図面

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 工事名  | R4徳土 徳島北灘線 徳・不動東 舗装修繕工事(2) (担い手確保型) |
| 路線名等 | 徳島北灘線                               |
| 工事箇所 | 徳島市不動東町(四国三郎橋) (第2分割)               |
| 図面名  | 正面図・断面図・構造図                         |
| 縮尺   | 図示 図面番号 2 / 2                       |
| 会社名  |                                     |
| 事業者名 | 徳島県東部県土整備局                          |